【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2001-13692(P2001-13692A)
【公開日】平成13年1月19日(2001.1.19)
【出願番号】特願平11-182751
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｆ　7/30　(2006.01)
Ｂ４１Ｃ　1/055　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/004　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/032　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｆ　7/30
Ｂ４１Ｃ　1/055　５０１
Ｇ０３Ｆ　7/00　５０３
Ｇ０３Ｆ　7/004　５０５
Ｇ０３Ｆ　7/032
Ｇ０３Ｆ　7/26　５０１

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
該赤外線レーザ用ポジ型平版印刷版材料に、前記赤外線レーザを露光すると、非露光部（画像部）では、該赤外線レーザ用ポジ型平版印刷版材料中のＩＲ染料等が、前記バインダー樹脂との相互作用により、該バインダー樹脂の溶解性を実質的に低下させる溶解阻止剤として働く。一方、露光部（非画像部）では、前記ＩＲ染料等が、光を吸収して熱を発生するため、該ＩＲ染料等と前記バインダー樹脂との相互作用が弱くなる。したがって、現像時には、前記露光部（非画像部）が、アルカリ現像液に溶解し、平版印刷版が形成される。
しかし、このような赤外線レーザ用ポジ型平版印刷版材料においては、ＵＶ露光により製版するポジ型平版印刷版材料と比べ、現像液の活性度に対するラチチュードが狭いため、活性度が高くなると、画像部の濃度低下、耐刷低下を、活性度が低くなると、現像不良を容易に引き起こす問題がある。
前記問題は、以下の、前記赤外線レーザ用ポジ型平版印刷版材料と、前記ＵＶ露光により製版するポジ型平版印刷版材料との製版メカニズムの本質的な相違に起因する。